



2026年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年12月11日

上場会社名 モロゾフ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2217 URL <https://www.morozoff.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 信二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営統括本部長 (氏名) 磯野 健治 TEL 078-822-5000
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年1月期第3四半期の連結業績 (2025年2月1日～2025年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年1月期第3四半期	22,255	△0.4	△202	—	△150	—	△202	—
2025年1月期第3四半期	22,340	3.2	210	△56.3	233	△53.7	345	35.3

(注) 包括利益 2026年1月期第3四半期 △98百万円 (−%) 2025年1月期第3四半期 408百万円 (△4.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年1月期第3四半期	△10.01	—
2025年1月期第3四半期	16.71	—

(注) 2025年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行ったため、2025年1月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年1月期第3四半期	27,377	19,001	69.4
2025年1月期	25,591	19,483	76.1

(参考) 自己資本 2026年1月期第3四半期 19,001百万円 2025年1月期 19,483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年1月期	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 —	円 銭 47.00	円 銭 82.00
2026年1月期	—	6.00	—		
2026年1月期(予想)				8.00	14.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 2025年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年1月期については、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

3. 2026年1月期の連結業績予想 (2025年2月1日～2026年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	35,920	△0.3	1,030	△50.0	1,060	△49.5	580	△59.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年1月期 3Q	21,265,356株	2025年1月期	21,265,356株
② 期末自己株式数	2026年1月期 3Q	1,020,902株	2025年1月期	1,054,635株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年1月期 3Q	20,216,521株	2025年1月期 3Q	20,665,361株

- (注) 1. 2025年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行ったため、2025年1月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。
2. 当社は、当第3四半期連結会計期間より、従業員持株ESOP信託を導入しております。期末自己株式数には、従業員持株ESOP信託が保有する当社株式（2026年1月期 3Q 277,400株）を含めております。また、従業員持株ESOP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

業績予想に関しましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(収益認識関係)	9
(重要な後発事象)	10
3. 補足情報	11
販売実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年2月1日～2025年10月31日）における当社グループを取り巻く環境は、雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかに回復いたしました。しかしながら、物価上昇と実質賃金のマイナス傾向が続いていることから節約志向がますます高まっており、消費者の商品や価格への選別の目は厳しさが増しております。

このような環境下において、当社グループは企業スローガンである『こころつなぐ。笑顔かがやく。』のもと、現在の中期経営計画「つなぐ～next stage 2031～」に基づく焼菓子戦略やコスト抑制戦略を着実に実行し進めています。

売上面につきましては、バレンタイン商戦が前倒し傾向となったことや、消費者の節約志向の影響により洋生菓子等の自家需要の低迷がみられたものの、新ブランドやイベントの展開を進め、クッキーなどの焼菓子の売上獲得に努めしたことにより、国内は堅調に推移しました。一方、海外では香港の子会社の2025年春節の売上が当該期間に計上されなかつたことにより大きく売上が減少した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は22,255百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

損益面につきましては、店舗や工場の人員体制の最適化に努めるとともに一部商品の価格改定に取り組んだものの、減収に加え、カカオを中心とした原材料価格の高騰、賃金の引上げによる人件費の増加、輸送費用の上昇や昨年、船橋の物流機能を外部に完全移行したことによる諸費用の計上などにより、営業損失は202百万円（前年同期は210百万円の利益）、経常損失は150百万円（前年同期は233百万円の利益）となりました。また、投資有価証券売却益が減少したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純損失は202百万円（前年同期は345百万円の純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[洋菓子製造販売事業]

干菓子につきましては、百貨店等の店舗の退店影響や前倒し傾向となったバレンタイン商戦の影響はあったものの、素材と製法にこだわった新体験カスタードスイーツ専門店「CUSTA」3号店の日本橋三越本店へのオープン（2025年4月）、北海道産発酵バターを使用したガレット専門店「太陽のガレット」1号店の西武池袋本店へのオープン（2025年9月）、焼菓子を楽しむ新イベント「ベイクフルデー」の開催などにより焼菓子の売上獲得に努めました。また、万博向け商品の発売による売上貢献もあり、国内は堅調に推移いたしました。一方で、香港の子会社での春節の売上が前期の計上となった影響が大きく、前年同期を下回る売上高となりました。

洋生菓子につきましても、昨年に発売55周年の記念商品を販売したチーズケーキの反動による減少に加え、消費マインド低下による買い控えの影響などにより、前年同期を下回る売上高となりました。

その結果、当事業の売上高は20,716百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

[喫茶・レストラン事業]

喫茶・レストラン事業につきましては、メニュー改変等による実質的な価格改定により、売上拡大を図った結果、売上高は1,539百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

(業績の季節的変動等について)

当社グループの売上高は季節的変動があり、バレンタインデー、中元、歳暮、クリスマスなどの大きなイベントが少ない第3四半期連結会計期間の売上高は、他の四半期連結会計期間の売上高と比べ減少する傾向にあります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産は前連結会計年度末に比べ1,786百万円増加し、27,377百万円となりました。資産の増減の主なものは、建設仮勘定の増加額3,419百万円、商品及び製品の増加額1,160百万円、仕掛品の増加額1,126百万円、受取手形及び売掛金の減少額4,634百万円等であります。負債は前連結会計年度末に比べ2,267百万円増加し、8,375百万円となりました。これは主にその他流動負債の増加額1,021百万円、支払手形及び買掛金の増加額820百万円、長期借入金の増加額380百万円等によるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べ481百万円減少し、19,001百万円となりました。これは主に資本剰余金の増加額85百万円、その他有価証券評価差額金の増加額72百万円、利益剰余金の減少額640百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年7月30日に発表いたしました2026年1月期の連結業績予想について変更はございません。なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,594,650	4,956,719
受取手形及び売掛金	6,892,429	2,257,885
有価証券	499,250	—
商品及び製品	2,372,148	3,532,670
仕掛品	336,922	1,463,385
原材料及び貯蔵品	486,545	729,954
その他	112,629	412,268
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	15,293,576	13,351,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,988,869	1,915,973
土地	3,644,738	3,644,738
建設仮勘定	82,320	3,501,577
その他（純額）	1,388,457	1,324,928
有形固定資産合計	7,104,385	10,387,218
無形固定資産		
その他	219,522	234,076
無形固定資産合計	219,522	234,076
投資その他の資産		
投資有価証券	1,274,819	1,390,494
退職給付に係る資産	764,711	1,018,656
その他	936,499	994,757
貸倒引当金	△2,500	—
投資その他の資産合計	2,973,529	3,403,909
固定資産合計	10,297,437	14,025,204
資産合計	25,591,013	27,377,087

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
負債の部		
流动負債		
支払手形及び買掛金	955,273	1,775,762
电子記録債務	529,098	352,046
短期借入金	1,510,000	1,605,000
未払法人税等	214,794	55,772
賞与引当金	218,570	448,681
その他	1,984,531	3,005,640
流动負債合計	5,412,268	7,242,904
固定負債		
长期借入金	—	380,000
退職給付に係る負債	80,093	82,881
その他	615,403	669,914
固定負債合計	695,497	1,132,795
負債合計	6,107,765	8,375,700
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,737,467	3,737,467
資本剰余金	3,924,810	4,009,854
利益剰余金	12,641,274	12,000,949
自己株式	△1,364,417	△1,395,015
株主資本合計	18,939,136	18,353,256
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	461,392	534,132
土地再評価差額金	290,138	284,238
為替換算調整勘定	107,985	99,351
退職給付に係る調整累計額	△315,404	△269,591
その他の包括利益累計額合計	544,112	648,130
純資産合計	19,483,248	19,001,387
負債純資産合計	25,591,013	27,377,087

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
売上高	22,340,734	22,255,987
売上原価	10,784,964	11,138,725
売上総利益	11,555,769	11,117,261
販売費及び一般管理費	11,345,472	11,319,329
営業利益又は営業損失(△)	210,297	△202,067
営業外収益		
受取配当金	18,295	20,094
債務勘定整理益	—	15,378
売電収入	9,047	9,903
その他	17,865	32,761
営業外収益合計	45,208	78,138
営業外費用		
支払利息	17,299	19,097
その他	4,628	7,766
営業外費用合計	21,927	26,863
経常利益又は経常損失(△)	233,578	△150,793
特別利益		
投資有価証券売却益	346,384	21,905
特別利益合計	346,384	21,905
特別損失		
固定資産除売却損	9,082	23,511
その他	1,851	3,980
特別損失合計	10,933	27,491
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	569,029	△156,378
法人税等	223,785	46,004
四半期純利益又は四半期純損失(△)	345,244	△202,383
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	345,244	△202,383

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	345,244	△202,383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,696	72,739
土地再評価差額金	—	△5,900
為替換算調整勘定	19,926	△8,634
退職給付に係る調整額	48,195	45,813
その他の包括利益合計	63,425	104,018
四半期包括利益	408,670	△98,364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	408,670	△98,364
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
減価償却費	581,553千円	475,578千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年2月1日 至 2024年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	洋菓子製造 販売事業	喫茶・レストラ ン事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,862,692	1,478,042	22,340,734	—	22,340,734
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	20,862,692	1,478,042	22,340,734	—	22,340,734
セグメント利益 又は損失 (△)	1,180,623	△2,716	1,177,907	△967,609	210,297

- (注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△967,609千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年2月1日 至 2025年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	洋菓子製造 販売事業	喫茶・レストラ ン事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,716,468	1,539,519	22,255,987	—	22,255,987
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	20,716,468	1,539,519	22,255,987	—	22,255,987
セグメント利益 又は損失 (△)	819,168	20,977	840,145	△1,042,212	△202,067

- (注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△1,042,212千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失 (△) と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：千円)

報告セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
洋菓子製造販売事業計	20,862,692	20,716,468
(内訳)		
干菓子群	14,255,358	14,202,091
洋生菓子群	5,994,617	5,889,347
その他菓子群	612,716	625,028
喫茶・レストラン事業計	1,478,042	1,539,519
顧客との契約から生じる収益	22,340,734	22,255,987
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	22,340,734	22,255,987

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2025年10月31日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することおよびその具体的な取得方法について決議し、下記のとおり実施いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため。

2. 取得の内容

(1) 取得対象株式の種類	当社普通株式
(2) 取得する株式の総数	210,000株（上限） (発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合1.0%)
(3) 株式の取得価額の総額	320,250,000円（上限）
(4) 取得日	2025年11月4日
(5) 取得方法	東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による買付け

3. 自己株式の取得の結果

上記買付けによる取得の結果、2025年11月4日に当社普通株式200,000株（取得価額305,000,000円）を取得し、当該決議に基づく自己株式の取得を終了いたしました。

(財務上の特約が付されたシンジケートローン契約の締結)

当社は、2025年10月31日開催の取締役会において、シンジケートローン契約を締結することを決議し、下記のとおり契約を締結いたしました。

	トランシェA	トランシェB
(1) 組成総額	4,650百万円	
(2) 組成金額	1,750百万円	2,900百万円
(3) 形式	コミットメントライン	タームローン
(4) 契約締結日	2025年11月14日	
(5) 実行日	コミットメント開始日 2025年11月14日	全3回 1回目：2026年9月30日 2回目：2026年10月30日 3回目：2026年11月30日
(6) 期間	1年	8年
(7) 適用金利	基準金利 + スプレッド	
(8) 最終返済期日	コミットメント期限 2026年11月13日	2033年11月14日
(9) 資金使途	運転資金	設備資金
(10) アレンジャー	株式会社みずほ銀行	
(11) 参加金融機関	株式会社みずほ銀行 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社みなど銀行 株式会社伊予銀行 株式会社三井住友銀行	株式会社みずほ銀行 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社みなど銀行 株式会社伊予銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社中国銀行 株式会社広島銀行
(12) 担保・保証	無担保・無保証	
(13) 財務制限条項	1. 2026年1月期決算以降、各年度の決算期末における連結の純資産の部の金額を、2025年1月決算期末における連結純資産額の75%以上に維持すること 2. 2026年1月期決算以降の決算期を初回とする連続する2期について、各年度の決算期における連結の損益計算書に示される営業損益が2期連続して損失とならないようにすること	

3. 補足情報

販売実績

当第3四半期連結累計期間のセグメント別商品群別販売実績は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (収益認識関係)」に記載のとおりであります。

洋菓子製造販売事業における主な製品を商品群別の区分により説明しますと、以下のとおりであります。

区分 (商品群)	主要品目	
干菓子群	(チョコレート)	プレミアムチョコレートセレクション、フェイバリット、りんごのチョコレート、ラウンドプレーン等。
	(クッキー)	ファヤージュ、アルカディア、オデット、ガレット オ ブール等。
	(デザート)	ファンシーデザート、凍らせてシャーベット、フルーツオブフルーツ、白いチーズケーキ等。
	(詰合せ)	ハッピーパーティ、ロイヤルタイム等。
洋生菓子群	(チルドデザート)	カスタードプリン、季節のプリン、季節のゼリー等。
	(ケーキ)	チーズケーキ、チョコレートケーキ等。
	(半生菓子)	マドレーヌ、フィナンシェ等。
その他菓子群	焼きたてクッキー、グラスオショコラ等。	